

ココイチ関連会社 税申告20億円誤り

名古屋国税局が指摘

カレーチェーン「COCO壱番屋」の創業者・宗次徳二氏(70)が取締役を務める同氏の資産管理会社「ベストライフ」(名古屋)が昨年、名古屋国税局の税務調査を受け、約20億円の申告の誤りを指摘されたことが分かった。2016年に所有するバイオリンの楽器「ストラディバリウス」など、本来は減価償却できない楽器を経費処理したと指摘された。

償却できぬ楽器 経費処理

過少申告加算税を含む追徴税額は約5億円。同社は修正申告し、全額を納付した。宗次氏は取材に「知識不足による税務処理のミスだった」と説明した。

宗次氏の説明や関係者によると、これらの宗次氏が所有していた楽器は16年ま

で、同氏らがお金を貸すかたちで資産管理会社が購入。管理会社は同年、楽器の資産の価値の目減り分を耐用年数に応じて計上する減価償却費として経費に計上して処理した。

しかし、国税局は宗次氏の楽器は制作から何百年も

減価償却資産にあたるものとあたらないもの

あたる	あたらない
建物や機械など、年月がたつと価値が下がるもの 	土地や希少価値の高い美術品など 
取得額が1点につき100万円未満の美術、骨董品など 	

れを指摘した。過少申告加算税などを含む追徴税額は約4億円で、全員がすでに納税したという。

宗次氏は音楽の普及にも尽力し、私財で名古屋市に「宗次ホール」を建設。ストラディバリウスのバイオリンを含む約30丁を、国内外の有望な音楽家に無償貸与している。

(村上潤治、大野晴香、渋井玄人)